

## 平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	Webデザイン(Web Design)		授業コード	P100151
担当教員名	坪倉 篤志		科目ナンバリングコード	P11001
配当学年	1	開講期	後期	
必修・選択区分	選択	単位数	1	
履修上の注意または履修条件	基本的なWindows PCの操作(ソフトウェア起動終了、日本語入力、ファイル処理等)と学内LANの利用(Webからの情報収集、メール等)ができること。演習内容を重視するので、出席を欠かさないで下さい。CG関連授業で学習する程度にPhotoshop / Illustratorを用いた制作ができること。著作権・肖像権などを理解した、課題への取り組みが必要です。			
受講心得	授業時はもちろん、課外の予習復習(自習)を通して、これらの目標が達成できるように学習を進めてください。 課題提出を重視します。毎回ステップアップ型で授業を進めますので、出席を欠かさないでください。 中間試験・期末試験とキー課題は必須です□			
教科書	必要に応じて教員が資料を作成し配布します。□			
参考文献及び指定図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詳解HTML&amp;XHTML&amp;CSS辞典 大藤 幹(著) 秀和システム</li> <li>・CG&amp;映像しくみ辞典 CGWORLD+スマートイメージ(編著) WORKS CORPORATION□</li> </ul>			
関連科目	コンピュータグラフィックス基礎 Webアニメーション、Webプランニング論、コンテンツ企画論、Webシステム構築、デジタルコンテンツ論			

授業の目的	この科目の目的は、Webデザインに関する基礎的な知識と技術を演習形式で習得することにあります。演習は実際の開発現場と同様に、複数人でチームを組み、作業を分担しながらWebサイト構築を行なうスタイルを採用します。制作スタイルとして、まずテキストエディタを使ってHTMLのタグを直接記述する制作方法から出発し、次に、サイトビルダー(「Adobe Dreamweaver」)を用いた制作方法を紹介します。デザイン手法としてはHTML以外にも、「CSS」(Cascading Style Sheet)、「Java Script」についても取り上げます。
授業の概要	制作としてのWebページの構築を行うための基礎学習を行ないます。授業では導入部分に注力します。是非積極的に色々と調査しながら、高い技術を身につける取り組みをしてください。□

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：Webサイト概論、HTML概論</b> Webサイトについて、歴史や仕組みについて学習します。また、Webサイト構築のための基礎言語としてHTML言語への導入を行ないます。	提出課題
<b>第2週：HTML:文字書式、画像、ハイパーリンク</b> HTMLを用いたWebページ制作の基礎について学習します。文字書式の設定、画像の設置、ページとページとのリンクを設置するハイパーリンクについて解説するとともに、制作技術について演習形式で学習します。	提出課題
<b>第3週：HTML:フレーム</b> 1つのページに複数のHTMLを配置し、Webページを制作するフレームについて解説するとともに、制作技術について演習形式で学習します。	提出課題
<b>第4週：前半の復習とまとめ、キー課題(前半:小作品の制作)</b> 前半に対する復習にとりくみます。また習得した知識と技能を用いた小作品の制作に取り組みます。	提出課題
<b>第5週：オーサリングツール概論</b> Webサイト制作を手軽にかつ、高度にデザインすることを可能にするオーサリングツールを用いた学習を行ないます。ここでは概論と制作に向けた基礎概念について、さらに操作方法として文字書式設定、画像配置、ハイパーリンクについて学習します。	提出課題

<b>第6週：オーサリングツール:テーブル</b>		
オーサリングツールを用い、テーブルタグについて学習します。テーブルはWebページ上での表を用いた表現を可能にするだけでなく、Webページ上のレイアウトデザインを担う場合もあります。ここではテーブル用いた基礎的な利用法から応用まで、解説と共に制作技法の学習を行います。		提出課題
<b>第7週：オーサリングツール:フレーム、フォーム</b>		
オーサリングツールを用いたフレーム、フォームの制作について解説します。フォームはサイトアクセス者へのアンケート取得等に用いられ、現在のWebサイトでは非常に重要な機能となっています。ここでは、タグの解説からオーサリングツールを用いた制作技法の学習を行います。		提出課題
<b>第8週：CSS:概論</b>		
HTMLとCSS(Cascading Style Sheet)の利用により、さらに高度なWebページ制作が可能になります。ここではCSSの概論について解説し、CSSを用いたページ制作の導入を行います。		提出課題
<b>第9週：CSS:レイヤー</b>		
CSSを用いたページ制作においてオーサリングツールを用いることにより制作が容易になります。ここではオーサリングツールを利用したCSSの設定の基礎について学習します。またレイヤーについても学習し、制作技法について演習形式で学習します。		提出課題
<b>第10週：CSS:クラス</b>		
CSSのクラス機能の利用により、膨大なページにわたるレイアウトデザインを一括管理できます。ここではオーサリングツールを用いたクラスについて学習し、制作技法を習得します。		提出課題
<b>第11週：調査課題(キー課題)</b>		
既に学習した知識を元に、実在するWebサイトを題材に、どのようにサイトは設計、構築されているのかを調査分析します。また調査結果をレポートにまとめ提出します。		提出課題
<b>第12週：JavaScript:概論</b>		
JavaScript言語によりWebサイトにおける訪問者との対話機能の実装が可能になります。ここでは基礎概念について学習し、サイト制作技法について学習します。		提出課題
<b>第13週：制作課題(キー課題)</b>		
複数人のチームでのWebサイト制作演習を行ないます。各人がサイト制作の分担を行い、サイトの企画立案から制作までを行います。		提出課題
<b>第14週：制作課題(キー課題)</b>		
第13回に引き続きサイト制作を行います。今回で完成をめざします。		提出課題
<b>第15週：制作課題(キー課題)</b>		
プレゼンテーション、全体復習とまとめ		提出課題
<b>第16週：期末試験</b>		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目		
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	Webサイトの設計や構築に必要な知識を理解している。
<b>【知識・理解】</b>	Webサイトの設計やWebサイトの基礎的な部分の構成について理解している。

【技能・表現・コミュニケーション】	Webサイトの設計やWebサイトの基礎的な部分を構築できる。
【思考・判断・創造】	構築するWebサイトの設計ができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点	5点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		20点	5点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点	5点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		20点	5点	
<p>(「人間力」について)</p> <p>※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p>				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	レポートの提出、レポートの記載内容と質
発表・その他(無形成果)	課題やワークへの取り組み